

# 山口県産繁殖鳥類リスト 2017

小林 繁樹・原田 量介・山根 和親・開作 秀敏  
村本 和之・立野 昌宏・弘津 聖也

「山口県の自然」第77号（2017年3月）別刷

山口県立山口博物館

## 山口県産繁殖鳥類リスト 2017

小林 繁樹<sup>1)</sup>・原田 量介<sup>2)</sup>・山根 和親<sup>3)</sup>・開作 秀敏<sup>4)</sup>  
村本 和之<sup>5)</sup>・立野 昌宏<sup>6)</sup>・弘津 聖也<sup>7)</sup>

### 1. はじめに

現在、山口県(1)では「レッドデータブックやまぐち(山口県の絶滅の恐れのある野生生物)」の改訂事業を行い、山口県版レッドデータブック改訂作業の一環として、目録類の作成及び改訂を実施しているが、山口県産繁殖鳥類リストについても作成及び改訂が必要である。

山口県産繁殖鳥類リストの作成は小林(2)や小林・原田(3)により今までに何回か行われており、その結果を見てみると、14目38科92種が記録されていて、繁殖確認(以下繁殖ランクAと略す)はカイツブリ、オオミズナギドリなど83種、繁殖の可能性がある(以下繁殖ランクBと略す)はヨシゴイ、カンムリウミスズメなど9種が報告されている。

しかしながらこれらの繁殖鳥類リストは作成されてから17年余りが経過しており、その後多くの種類について、新たに繁殖記録が得られたり、従来繁殖ランクBの記録しか無かった種で、より確実な繁殖ランクAの記録が得られたものがあつたので、今回、山口県産繁殖鳥類リストの改訂を行い2017年現在のリストを作成したので報告する。

### 2. 山口県産繁殖鳥類リストの作成手順とリスト化の対象について

山口県産繁殖鳥類リストの作成にあたっては、リスト化の対象を日本鳥学会(4)の日本鳥類目録第7版に記載された日本産の鳥類とした。但し、外来種の取り扱いについては、国内で記録された種のリストと国内で繁殖記録のある外来種のリストPart B 外来種・亜種の2つのカテゴリーに分けて記載している。そこで山口県産繁殖鳥類リストの作成にあつても、外来種を含めてリスト化の対象とすることとした。なお、外来種(外来鳥)の定義は、村上・鷺谷(5)によれば、外来種(alien species)とは、過去あるいは現存の自然分布域外に導入(introduction)(人為的によって直接的・間接的に自然分布域外に移動させること)された種、亜種、あるいはそれ以下の分類群を指し、生存し繁殖することが出来るあらゆる器官、配偶子、種子、卵、無性的繁殖子を含むものをいう。一方、川上・叶内(6)は外来生物とは、自然分布しない場所に対して人為的に導入された種、亜種、またはそれ以下の分類群の生物としている。そこで、村上・鷺谷(5)や川上・叶内(6)による外来種(外来鳥)の定義を参考に、人為的活動にともなつて、自然な生息地外で野生化している鳥類について、そのすべてを取り上げることとした。具体的な山口県産繁殖鳥類リストの作成手順については、

---

1) KOBAYASHI, Shigeki 山口県希少野生動植物保護対策検討委員会 鳥類専門部会長 (〒745-0802 周南市栗屋坂田948-24) 2) HARADA, Ryouyusuke 3) YAMANE, Kazuchika 4) KAISAKU, Hidetoshi 5) MURAMOTO, Kazuyuki 6) TACHINO, Masahiro 7) HIROTSU, Seiya 2)~7) 山口県希少野生動植物保護対策検討委員会鳥類専門部会委員

- ・既往文献における繁殖に関する記載の探索
  - ・日本野鳥の会山口県支部野鳥観察カードデータベースの繁殖に関する記録の検索・抽出
  - ・日本野鳥の会山口県支部会員からの繁殖に関する観察情報及び写真の収集
- の結果をもとにリストを作成した。

### 3. 山口県産繁殖鳥類リスト

山口県産繁殖鳥類リストは種ごとに目名、科名、日本国内の分布、繁殖状況、山口県内での分布、繁殖状況の順に記す。県内の繁殖状況については、日本野鳥の会山口県支部(7, 8)が行った山口県版鳥類繁殖分布調査報告書に基づいて記載し、その後の知見を付記する。具体的観察記録は、観察場所、観察年月日、個体数、観察者、繁殖に関する行動の順で示す。なお、繁殖ランクA、繁殖ランクBについては日本野鳥の会山口県支部(7)による表1の繁殖可能性の区分及びその判定項目によった。但しさえずり(B-60)だけの単独の記録は除いた。分類や掲載順は日本鳥学会(4)による日本産鳥類目録改訂第7版によった。表2に山口県産繁殖鳥類リスト2017を、図1aに新たに山口県内で繁殖が記録された種の写真を、図1bに新たに山口県内で繁殖ランクA(繁殖確認)が記録された種の写真、図1cに山口県で繁殖記録が少ない種の写真を示す。

#### (1) 新たに山口県内で繁殖が記録された種

##### 1. カワウ *Phalacrocorax carbo*

カツオドリ目ウ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として北海道に飛来し繁殖。留鳥として本州、四国、九州で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると、1990年版では宇部市常盤公園、下関市小月町穴田堤、佐波郡徳地町大原湖等で確認されただけである。2000年版では瀬戸内側の沿岸部3地点と日本海側萩市周辺の3地点で記録され分布が拡大しているものの、繁殖については未記録であるとしていたが、小林・梶畑(9)、日本野鳥の会山口県支部(10)、小林(11, 12, 13)によれば2004年5月に佐波郡徳地町と下関市で、山口県内で初めて繁殖が確認された。その後も日本野鳥の会山口県支部(14, 15)、小林(16, 17)、NPO法人野鳥やまぐち(18)、山本(19)、原田(20)、NPO法人バードリサーチ(21)、山口県野生鳥獣調査団(22)等によって県内各地で繁殖が確認され、分布が拡大している。

佐波郡徳地町大原湖中の島 2004/5/6～9/22 12巣 小林繁樹 5/6大原湖に浮かぶ中の島で10+巣を発見。5/10枯れた松に営巣。巣の数は12巣。成鳥25羽雛5羽。6/18 12巣。成鳥19羽若鳥4羽雛30羽。7/22まで営巣活動確認。8月、9月は成鳥のみ確認。写真有り(9, 10)

日本野鳥の会山口県支部(14)、小林(13, 16)、NPO法人野鳥やまぐち(18)、山口県野生鳥獣調査団(22)によると大原湖中の島ではその後も2016年現在まで継続して繁殖している。

下関市清末穴田堤 2004/5/5～7/25 1巣 梶畑哲二 5/5水面に張り出した樹木に巣。成鳥4羽若鳥2羽雛2羽。写真有り(9, 10, 12)

下関市清末穴田堤 2005/4/24～5/14 5巣 梶畑哲二 4/24 5巣成鳥16羽雛2羽。5/14サギ類とともに一部が営巣放棄2巣のみ。6/24にはカワウの姿なし。写真有り(14)

穴田堤では営巣は小林・梶畑(9)、日本野鳥の会山口県支部(10, 14)、小林(12)によれば2004年1巣と

2005年5巢の記録のみで、日本野鳥の会山口県支部(14)によると2005年には途中放棄した。

下関市菊川町上大野大堤溜池 2005/7/23～8/27 梶畑哲二 7/23 3巢成鳥7羽雛3羽。穴田堤が営巢放棄されたのでカワウの活動範囲を探して発見。8/27成鳥3羽のみ。写真有り(14)

大堤溜池では小林(17)、NPO法人野鳥やまぐち(18)、山口県野生鳥獣調査団(22)によると、その後も2016年現在まで継続して繁殖している。

岩国市錦見8丁目 2008/6/\*～7/\* 5+巢 澤田千晶 2008年6月から7月に錦見8丁目の錦川左岸にあるカワウの大規模ねぐらがあった場所で少なくとも5番が営巢した。他に2003年頃に地元新聞記者の塩村さんが現地で10番と雛(数は不明)を確認している。写真無し(17)

錦見ではNPO法人野鳥やまぐち(18)、NPO法人バードリサーチ(21)、山口県野生鳥獣調査団(22)によると、その後カワウのねぐらは継続利用があるものの繁殖は確認されていない。

岩国市日の出町帝人池 2011/6/\*～7/\* 5+巢 澤田千晶 2011年6月から7月に帝人池でサギ類とともにカワウが繁殖。営巢数は5+巢で、詳細は不明ながら7月になると魚の腐臭で土手を通るにも気分が悪くなる。写真無し(17)

日の出町帝人池では小林(17)、NPO法人野鳥やまぐち(18)、NPO法人バードリサーチ(21)、山口県野生鳥獣調査団(22)によると、その後カワウのねぐらは継続利用があるものの繁殖は確認されていない。

美祿市秋芳町岩永下郷 2013/4/17 10巢13羽 小川孝生(17)

美祿市秋芳町岩永下郷 2013/4/25～5/14 15巢 坪井美由紀 4/25 15巢成鳥22羽。河川敷林の広葉樹に営巢し親鳥が抱卵中。5/14巢の痕跡があるもののコロニー消失。写真無し(18)

岩永下郷ではNPO法人野鳥やまぐち(18)によるとその後2014/3/1～3/2に1巢で造巢が確認され、2015年の繁殖期には山口県野生鳥獣調査団(22)によって古巢の痕跡6巢が確認された。

下関市長府干珠島 2013/4/28～8/16、2014/3/5 2013/4/28 4巢成鳥8羽雛4羽 5/20 5巢成鳥6羽雛5羽 6/16 7巢成鳥10羽雛12羽 7/17 8巢雛7羽 2014/3/5 4巢成鳥8羽 いずれも梶畑哲二確認。写真有り(17, 18)

干珠島ではNPO法人野鳥やまぐち(18)、山口県野生鳥獣調査団(22)によると、その後も継続して繁殖している。

下関市豊浦町美濃ヶ迫溜池 2011/3/29 2巢。2ヶ所で抱卵中。2011/6/8 1巢で雛(若鳥?)3羽を確認。2012/3/20 2巢確認。4月中旬に悪天で巢が落ち繁殖失敗。2013/3/9 1巢。4月初旬に悪天で巢が落ち繁殖失敗。いずれも浅田晴男確認。写真無し(17)

下関市豊浦町美濃ヶ迫溜池 2013/5/26 1巢。山本 浩 成鳥4羽雛3羽確認。写真無し(18)

美濃ヶ迫溜池での営巢は山口県野生鳥獣調査団(22)によるとその後確認されていない。

山口市秋穂二島雌島 2014/4/9 2巢 山本健次郎 南若川河口小島の1本の高木にカワウ10±羽が止まり休息。営巢中の2巢がある。写真有り(19)

山口市秋穂二島雌島 2014/4/10 3巢 原田量介 4/10雌島サギ類コロニーで樹林の最上部の枝先に3巢。その後1巢は何らかの理由で途中放棄され、2巢で雛がそれぞれ2羽、3羽が確認され、順調に育って5羽が巣立った。写真有り(20)

雌鳥では山口県野生鳥獣調査団(22)によるとその後も2016年現在まで継続して繁殖している。

萩市平安古町 2016/5/10 5巣成鳥2羽雛3羽 三谷栄治 営巣を初認。5巣のうち1巣を使用中で4巣は空。地元の人情報では約1ヶ月前から繁殖行動があり空の巣にも親鳥がいたので巣立ったのはとのことだった。写真有り。

萩市平安古町は今年初めて繁殖が確認され、山口県の日本海側での本種の初繁殖記録である。

## 2. シロハラクイナ *Amaurornis phoenicurus*

ツル目クイナ科。日本鳥学会(4)によれば留鳥として奄美諸島、琉球諸島に分布し繁殖。新潟、埼玉、静岡、山口、熊本、トカラ列島でも繁殖例がある。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では観察記録は無い。2000年版でも2サブメッシュで生息が確認されただけである。しかしながら山口県立山口博物館(23)によると吉敷郡阿知須町で1988年7月5日～6日に成鳥1羽幼鳥1羽の記録があり、繁殖した可能性があるとされた。2002年に辻(24)によって長門市で、山口県内で初めて繁殖が確認され、この時には年間に3回の繁殖を行った。それ以降も同じ長門市西深川で辻(25, 26, 27, 28, 29)による複数の繁殖に関する観察記録がある。

長門市西深川 2000/5/5～2002/9/15 辻 正敏 2000/5/5 当地でシロハラクイナを初観察。2002/1/28成鳥3羽観察。1/29～1/30成鳥2羽観察。以後9月まで成鳥を継続して確認。5/12餌をくわえた成鳥を観察。5/19親鳥2羽と雛5羽を発見。雛への給餌を確認。5/28、5/31雛が親鳥と共に餌探し。6/15雛は1ヶ月たち親に似てきて単独行動をする。8/14新しく孵化した雛3羽を発見。2回目の雛の誕生を確認。9/15 3回目の雛の誕生を確認。営巣地の環境は以前農業用溜池として使用されていた面積10a程の半分以上乾陸化しセイタカアワダチソウやヤナギが生え、池面にはハスが生い茂る。写真有り(24)

長門市西深川 2003/6/16 成鳥1羽雛1羽 辻 正敏 成鳥1羽が雛1羽を連れて採食する。写真有り(25)

長門市西深川 2003/9/8 成鳥1羽雛5羽 辻 正敏 9/7雛5羽を確認。今日孵化した様だ。9/8写真撮影。西深川では昨年よりいた池で3回、新しい池で1回雛の誕生を確認(26)

長門市上川西 2004/5/5～9/15 辻 正敏 5/5成鳥が餌を探す。5/27生まれて間もない雛1羽。6/3親鳥が雛に給餌。6/4雛が給餌を待つ。6/9成鳥1羽雛1羽が餌探し。6/10成鳥1羽雛1羽が水面を移動。6/17親鳥が雛に給餌。6/22親鳥1羽とほぼ親鳥と同じ位に成長した雛1羽が採餌。6/28成鳥2羽が交尾する。8/29親鳥が餌のバツタを運ぶ。9/15親鳥が巣材を運ぶ。写真有り。6月初旬に孵化し、約1ヶ月後に2度目が孵化し、その後9月までに3～4回孵化する。抱卵期間は約3週間位で、巣は抱卵ごとに新しく作る。1つの繁殖池に1カップルだけで、繁殖を確認できたのは近くの池で3ヶ所ある。写真有り(27)

長門市西深川 2005/7/24 成鳥1羽雛3羽 秋本裕寿 3羽の雛を連れた親鳥。写真有り。

長門市西深川上川西 2005/7/25 成鳥1羽雛4羽 辻 正敏 シロハラクイナの親子(成鳥1羽雛4羽)。6/27に孵化したと思われる。写真有り(28)

長門市西深川上川西 2006/5/25 成鳥♂♀各1羽 辻 正敏 ♂が取ってきた餌を♀に求愛給餌する。

写真有り(29)

### 3. ジュウイチ *Hierococcyx hyperythrus*

カッコウ目カッコウ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として北海道、本州、四国、九州に飛来し繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では僅かに広島、島根県境の山地(寂地山、長野山、滑山、馬糞ヶ岳)でさえずりが記録された。2000年版では分布がやや拡大し、広島、島根県境の山地の他に宇部市、山口市等の県中部の山地でも記録された。ホトトギス類の中で最も記録数が少なく、今までに確実な繁殖の確認はない。今回、國廣(30)によって下関市で巣立ち間もない幼鳥が記録された。これは本種の山口県内における繁殖に関する初めての記録である。

下関市深坂公園 2007/6/12 幼鳥1羽 國廣文隆 車道にうずくまっていたので土手に保護すると自力で近くの枝に飛ぶ。写真有り(30)

### 4. ホトトギス *Cuculus poliocephalus*

カッコウ目カッコウ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として北海道南部、本州、粟島、佐渡、四国、九州、対馬、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美諸島に飛来し繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版ではホトトギス類4種の内でも最も普通で、平野部から山地まで広く生息し、さえずりの記録はあるが繁殖記録はない。2000年版でも分布の拡大傾向があるが繁殖記録はない。今回、村田美津子(31)による宇部市と、山口市で巣立ち間もない幼鳥(雛)の2例の観察記録を得た。これは本種の山口県内における繁殖に関する初めての記録である。

宇部市霜降山 2003/7/2 村田美津子 雛1羽 霜降山の沼杉の少し上でウグイスが盛んに警戒して鳴き、藪の中がカサコソするので見るとホトトギスの雛が巣から落ちたのか巣立ったのかじっとしていた。写真有り(31)

山口市東鳳翺山 2004/8/24 恩塚正則 幼鳥1羽 近づくと20m先の枝へ飛ぶ。さらに20m先の枝へ飛ぶ。やっと飛んでいるという感じだった。写真無し。

### 5. セイタカシギ *Himantopus himantopus*

シギ目セイタカシギ科。日本鳥学会(4)によれば留鳥として千葉、東京、愛知で繁殖。大阪、沖縄島でも繁殖例がある。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では僅かに2サブメッシュで生息記録を得ただけであるが、宇部市厚南区西沖干拓地では1987年と1989年に繁殖期を通して確認されている。2000年版では総データ数は増加しているが繁殖確認はない。今回、浜田(32)によって岩国市尾津で繁殖が確認された。これは山口県内における繁殖初記録である。

岩国市尾津ハス田 2012/6/3～8/19 成鳥2羽雛1羽 浜田千代子 6/3ハス田の畦に座り抱卵。6/22雛1羽が誕生。親子で移動しながら雛は自分で採餌し、疲れると親鳥の脇の下、羽根の中に潜る。7/1雛1羽確認。7/2雛が羽根(まるで手羽先の様)をバタバタさせ羽ばたきの練習?をする。7/5夕刻、親鳥が道路に出ては鳴いて雛を呼ぶ様な行動。少し離れた他の田んぼに誘導したい様子。雛は道路に出ず、親鳥は雛のいる田んぼに戻る。7/8夕刻、親鳥が誘導を始め、20分かけて雛が道路を横断しハ

スが茂った別の田に移動。7/15産毛もほとんどなくなったが鳴き声は相変わらずピヨピヨ。7/22数十mの低空飛行を行う。7/24かなり離れた田んぼへ二度目の引っ越し。7/25産毛はすっかり無くなり、翼も立派になる。ゴイサギ幼鳥(ホシゴイ)やコサギにちょっかいをかけられても反撃する。田んぼもあちこち移動している様子。8/19行動範囲が広がり河口の干潟で親子の姿を見る。これが終認。このあと数日間は河口付近や蓮田上空などで複数の目撃情報があったが出会えず。写真有り(32)

#### 6. ハチクマ *Pernis ptilorhynchus*

タカ目タカ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として北海道、本州、栗島、佐渡、四国に飛来し繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると、少数の生息記録があるが繁殖例はない。梅森・東常(33)によれば、山口県では5月中旬、秋は9月下旬に渡りのピークが見られ、中国山地から瀬戸内海沿岸の広い範囲を通過することが知られているものの、これまで繁殖の確認例が無かったが、2003年に萩市(旧旭村)で繁殖例を確認した。これは山口県内における初繁殖記録である。

山口県萩市(旧旭村) 2003/5/20～2003/9/\* 梅森龍史・東常哲也 成鳥2羽 巣内雛1羽 5/20～5/23 4日間にディスプレイを伴う出現を2、1、2、3回記録。7/16～7/17 2日間にディスプレイを伴う出現を2、1回の観察。7/17餌運びを1回観察。8/17 7月に餌の持ち込みや林内への侵入が認められた地点を踏査。巣を発見し、巣内に雛1羽を確認。雛は前額、頬と上頸との境、胸と上頸との境、脛のみに幼綿羽が認められ、他は幼羽がそろっており、巣立ち間近と思われた。巣は標高330mのコナラ林にアカマツ高木が点在する植生の南西斜面、斜度25°に生えた樹高約20m、胸高周囲約1.51mのアカマツの地上約15m、ルート状に5つに分岐した部分に架巢され、巣の直径約0.8m、巣の厚さ約0.5m、産座にハチ(スズメバチ科と思われる)の巣1個が有り、生葉のついたアカマツの枝が認められた。写真有り(33)

#### 7. オオアカゲラ *Dendrocopos leucotos*

キツキ目キツキ科。日本鳥学会(4)によれば亜種エゾアカゲラが留鳥として北海道、南千島で繁殖。亜種オオアカゲラが留鳥として本州北・中部、佐渡で繁殖。亜種ナミエオオアカゲラが留鳥として本州中・南西部、隠岐、四国、九州で繁殖。亜種オーストンオオアカゲラが留鳥として奄美大島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では佐波郡徳地町滑山で1例の観察記録が得られただけである。2000年版でも岩国市錦町宇佐で1例の保護記録が得られただけで稀である。今回、深町(34)によって周南市鹿野で初めて繁殖に関する行動を記録した。

周南市鹿野仁保谷 2006/4/29～5/19 深町 修・秋本裕寿 4/29鹿野の奥にある山小屋そばの枯れた松の木の下にたくさんの木屑が落ちていたので見ると、高さ14mに真新しい穴がありオオアカゲラが飛来。4/30秋本によって巣穴を覗く写真撮影。5/19おそらく抱卵中(34)

周南市鹿野仁保谷 2006/4/30 1羽 秋本裕寿 営巣するも雛の誕生なし。写真有り。

#### 8. サンショウクイ *Pericrocotus divaricatus*

スズメ目サンショウクイ科。日本鳥学会(4)によれば亜種サンショウクイが夏鳥として本州、四国、

九州で繁殖。亜種リュウキュウサンショウクイが留鳥として愛媛、高知、大分、熊本、宮崎、鹿児島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では山口県では県内の内陸部に極く少数が生息するだけで、さえずり以外の繁殖に関する情報はない。2000年版でも渡り期を中心に極く僅かな記録だけである。今回、宮川・石崎(35)により山口市香山公園で亜種リュウキュウサンショウクイ *Pericrocotus divaricatus tegimae* の繁殖が確認された。これは山口県内での繁殖初記録である。三上・植田(36)によれば本亜種は近年、西日本において分布の拡大傾向が顕著で、小林・原田ほか(37)によると山口県内でも観察記録が増加している。

山口市香山公園 2016/6/5～7/12 成鳥♂1羽♀1羽雛3?羽 宮川輝男・石崎哲夫 亜種リュウキュウサンショウクイの繁殖を確認。2015年11月、12月、2016年1月にも確認していたが、6/5営巣を発見。巣は90%完成していた。♂♀が木の皮らしきものをくわえてきては貼付けていた。巣はゴムのように弾力がありしっかりしていた。地上から10m位の松の枝で、真下は公園の駐車場で頻繁に人間が行き来していた。6/12抱卵開始。6/30孵化。周囲にはカラスも近くに来て心配。7/1給餌の様子を確認。♂♀が一生懸命の子育て。♂は巣には入らず、15分間隔に餌をくわえて来て、♀に渡してタッチアンドゴー。♀は巣に座っているが、30分に一回は巣を出て餌を探して来る。エサはカマキリ、ハチ、蛆虫など。雛数は判らないが餌の与え方からみて3羽位か? 7/12巣立ち。前日の夕刻はまだ巣に雛がいたが、翌日の朝には居なかった。写真有り(35)

## 9. ヤブサメ *Urosphena squameiceps*

スズメ目ウグイス科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、屋久島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では県内の山地に普通に生息するが、さえずりの記録は多いものの、それ以外の繁殖兆候の確認はない。2000年版では分布の拡大傾向が顕著で、県内全域の山地に普通に生息するが、県西部ではやや少ない。宇部市霜降山、宇部市川上大木屋における記録は山口県内での初めての繁殖確認記録である。今回、山口市東鳳翺山や兄弟山等でも村田稔恵(38)、恩塚(39, 40, 41, 42, 43)によって繁殖に関する多くの記録を得た。

都濃郡鹿野町小河内石鎚神社付近 1997/6/14 巣立ち雛2羽 小林繁樹 道路脇の斜面の藪でウグイスと同色でやや小さく尾が短いヤブサメと思われる巣立ち雛2羽を観察。ジュジュジュとけたたましく鳴きチツ、チツという声も出した。写真無し。

宇部市厚東霜降山山頂付近 2000/5/27 1羽 崖登司之 山頂付近の地表で長さ3cmの青虫を捕らえ振り回してのびたのを丸めてくわえ、10秒後こちらを警戒後チャチャチャと鳴きながら運び去る。写真無し(8)

宇部市川上大木屋 2000/6/8 成鳥1羽 原田量介 湿って薄暗い林床。落ち葉の上をホッピングでヤブサメが移動する。落ち葉を嘴で払いのけ餌を探している様子。その内柔らかそうな落ち葉を2～3枚くわえて飛び去る。その後5分位すると又現れ今度は虫を探しくわえて飛び去る。近くでさえずりも聞こえたので♀の可能性あり。写真無し(8)

宇部市川上大木屋 2000/6/9 成鳥2羽幼鳥3羽 原田量介 前日と同じ場所で♂のさえずりを聞く。

成鳥がすぐ現れ林床で餌を探し嘴にくわえて地上近くの木の間を移動する。しばらくして巣立ち間もない幼鳥3羽が現れ林床をホッピングしたり枝移りしながら親の後を追って、親鳥が落ち葉をほじって探した餌を地上や朽ち木の上で与えられていた。幼鳥は口角周囲が黄色で体色はウグイスの色に近く眉斑は無かった。ホオジロの様な声でチッチ、チッチと鳴き親の後を追ひ、餌をもらう時は小刻みに羽を震わせていた。写真無し(8)

島根県津和野町地倉山 2004/5/30 成鳥♀1羽 村田稔恵 地倉山標高約350mの地点で目通り約20cmのアカシデの木の根元にコケ類等で作った巣があり親鳥が抱卵していた。写真有り。参考記録(県外)(38)

山口市東鳳翻山 2004/9/2 幼鳥1羽 恩塚正則 地上50cmの茂みの中をチョツ、チョツと鳴きながら移動していった。眉斑は目の後ろで細く切れ、大中雨覆に幼羽がある。写真無し(39)

山口市兄弟山 2005/6/20 成鳥1羽 恩塚正則 5m先の繁みでティツ、ティツと鳴きながら動き回っていた。虫を1匹くわえて10m先の小さな繁みに入った。写真無し(40)

山口市東鳳翻山 2006/6/16 1羽 恩塚正則 林道で2cmの虫をくわえて繁みの中へ入っていった。写真無し。

山口市東鳳翻山 2008/7/31 幼鳥1羽 恩塚正則 ティツ、ティツと鳴きながら小木の上に出て来た。眉斑が不鮮明で幼鳥と思われる。写真無し(41)

山口市東鳳翻山 2008/8/25 幼鳥1羽 恩塚正則 ティツ、ティツと声があるので探すと4m前の倒木上で鳴きながら2回転した。初列風切P10と大雨覆に幼羽が見られた。写真無し(42)

山口市東鳳翻山 2009/6/26 成鳥2羽幼鳥2羽 恩塚正則 幼鳥2羽がティツと小声で鳴きながら動き回っていると親鳥2羽が来て4羽並び枝に止まる。1羽に抱卵斑が有る。写真無し。

山口市東鳳翻山 2009/7/5 幼鳥1羽 恩塚正則 ヤブサメの幼鳥1羽がツルの東の中でヤマガラ幼鳥2羽と動き回っていた。写真無し。

山口市東鳳翻山 2011/8/19 幼鳥1羽 恩塚正則 林道脇の薄暗い所でティツティツと鳴きながら動いていた。眉斑と過眼線の後半分が未完成だった。写真無し(43)

萩市須佐押谷 2016/6/10 成鳥1羽幼鳥3羽 開作秀敏 道沿いの林床で巣立ち雛が鳴き、親鳥が鳴き声で威嚇する。写真無し。

#### 10. クロツグミ *Turdus cardis*

スズメ目ヒタキ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し北海道、本州、佐渡、四国、九州で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では島根県境付近の標高の高い山地の3サブメッシュでさえずりの記録を得た。2000年版でも繁殖確認は無かったものの、標高の高い場所から低い場所まで分布が拡大しており各地でさえずりを記録した。今回、恩塚(44, 45)、今井(46)、岩井(47)によって山口市周辺で多くの繁殖に関する観察記録を得た。

山口市東鳳翻山 2006/6/3 ♂成鳥1羽 恩塚正則 3cmの虫をくわえて林道をホッピングで移動しては落ち葉の中で餌を探していた。写真無し(44)

山口市宮野上21世紀の森管理棟駐車場付近 2006/8/15 ♀成鳥1羽 岩井清陸 県道から10m入った山道の側溝側の湿った土の所でミミズ1匹をくわえ林の中へ飛んだ。餌運びと思われる。写真無し。

山口市東鳳翺山 2007/7/27 ♂成鳥1羽 恩塚正則 ♂成鳥が黒い虫をくわえて行ったり来たりしている。近くに巣がある様だ。写真無し。  
 山口市東鳳翺山 2007/8/6 ♂成鳥1羽 恩塚正則 林道で餌を探していたが虫3匹をくわえて繁みの中へ飛び去った。2時間後にもここで餌を探していた。写真無し。  
 山口市東鳳翺山 2007/8/9 幼鳥2羽 恩塚正則 繁った枝に幼鳥2羽が並んで止まっていた。写真無し。  
 山口市東鳳翺山 2007/8/19 幼鳥2羽 恩塚正則 幼鳥2羽が枝に3分間止まっていたが一緒に飛び去った。写真無し。  
 山口市東鳳翺山 2008/7/20 ♀成鳥1羽幼鳥2羽 恩塚正則 幼鳥2羽が林道で餌を探していた。親鳥♀も林道に現れた。近くでさえずりも聞かれた。写真無し。  
 山口市東鳳翺山 2008/7/24 成鳥2羽雛2羽 恩塚正則 雛2羽と♀1羽が林道で餌を探していた。雛は飛翔力が弱い様だった。♂は近くで囀っていた。写真無し。  
 山口市東鳳翺山 2009/7/4 幼鳥1羽 恩塚正則 幼鳥1羽が林道で餌を探していたが、3m上の枝に移りキョロキョロしていた。体上面は明るいオリーブ褐色だった。写真無し(45)  
 山口市東鳳翺山 2009/7/13 ♀成鳥1羽 恩塚正則 ♀が30m前の林道を歩いていた。ミミズ2匹をくわえていて、日頃よくさえずりを聞く所へ飛んで行った。写真無し。  
 山口市巾尾地蔵峠南 2012/7/8 ♀成鳥1羽 今井章彦 路上で採食。車で近付いても数十m飛んで採食を続ける。写真無し(46)  
 山口市巾尾地蔵峠付近 2013/7/8 ♂成鳥1羽幼鳥1羽 岩井清陸 林道を♂親鳥1羽と巣立ち雛1羽がホッピングで歩いていた。写真無し(47)  
 山口市宮野上金山21世紀の森世界の森付近 2013/7/23 ♀成鳥1羽 岩井清陸 道路横の草が少し生えた所でミミズを1匹くわえてウォーキングで歩き地面をつついてもう1匹ミミズをくわえ3分後に北東へ飛ぶ。餌運び? 写真無し。  
 山口市佐々並小吹峠付近 2014/5/25 ♀成鳥1羽 岩井清陸 虫をくわえて路上を左に走り、草の間に入ったので車を発進すると路上を北に飛んで林へ入る。餌運びらしい。写真無し。

#### 11. ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*

スズメ目ヒタキ科。日本鳥学会(4)によれば日本には主に冬鳥として飛来し、繁殖記録は北海道中部、長野県で記録があるだけであったが、笹野・山田ほか(48)によると近年岡山県、兵庫県などでも相次いで繁殖が確認され、繁殖記録が増加傾向にある。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると山口県内では冬期に極めて普通であるが繁殖記録はない。今回、2014年に上田(49)によって山口市で♀単独による造巣、抱卵などの繁殖行動が観察された。これは本種の山口県における初めての繁殖に関連する記録である。

山口市巾尾 2014/7/2~7/31 ♀1羽卵5個 上田洋史・上田貴子 7/2ジョウビタキ♀が巣材をくわえて自宅軒下に運んで造巣しているのを確認。7/4♀1羽が巣の中でゆったりと居心地を確認するような行動を見せ、巣はほぼ完成。7/11♀の巣ごもりを確認。時々採餌のために短時間巣を離れる他は

ほとんど巣におり抱卵中と思われる。7/16 5個の卵確認。7/31早朝♀は巣を離れた後戻らなかった。全期間を通して♂は確認できず。後日巣と卵を回収。巣は幅約255mm×奥行約155mm×高さ約50mm、内径約60mmの火山型。巣材はコケ、草、小枝等を組み合わせてあり、内面は動物の毛のような繊維で覆われていた。卵はおおよそ長径18.7mm、短径14.3mm、重量1.8gであった。卵は何れも胚が成長しておらず、♂の存在を確認できなかったこととあわせて無精卵であったと思われる。写真有り (48, 49)

## 12. コリンウズラ *Colinus virginianus*

キジ目ナンベイウズラ科。日本鳥学会(4)の日本鳥類目録には掲載がない。川上・叶内(6)によれば本種は人為的活動にともなって、自然な生息地外で野生化している鳥、いわゆる外来鳥で、原産は北米中東部、メキシコ。1980年代から狩猟目的(猟犬の訓練のため)で放鳥されるようになり、野生化で繁殖している可能性が高く、外来生物法で要注意外来生物に指定されている。小林・原田(50)によれば山口県内では2008年以降に山口市秋穂二島と山口市阿知須での観察記録があり、このうち山口市阿知須で雛1羽が保護された。これは本種の山口県初繁殖記録である。

山口市阿知須きらら浜自然観察公園付近 2009/10/7 雛1羽 原田量介 きらら浜自然観察公園附近西側草地にてコリンウズラのヒナ1羽を保護。写真有り。当地では2008/7/26にも成鳥1羽の観察記録がある (50)

### (2)新たに山口県内で繁殖ランクA(繁殖確認)が記録された種

#### 1. ヨシゴイ *Ixobrychus sinensis*

ペリカン目サギ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し北海道、本州、佐渡、隠岐、四国、九州で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では確実な繁殖記録はなく、瀬戸内西部のヨシ原で僅かに生息が確認されただけであった。2000年版では宇部市で雛が保護され、山口県内で初めての繁殖が確認された。瀬戸内側の県西部のみに生息記録があるだけで県東部と日本海側では生息の記録が得られなかった。今回、山口市阿知須で繁殖ランクA(繁殖確認)が記録された。

宇部市厚南区西沖 1991/8/18 加藤 昇 雛1羽 常盤公園保護鳥。雛1羽を保護したが死亡。山口県初繁殖記録。写真無し (8)

下関市王司町乃木浜野鳥公園 2000/7/20 成鳥2羽 梶畑哲二 イグサを利用した巣を見つけたが雛はいなかった。周囲で成鳥2羽を毎日確認。写真無し (8)

山口市阿知須きらら浜自然観察公園 2009/7/14 成鳥2羽雛4羽 原田量介 自然観察公園ヨシ原にて営巣、4羽の雛を確認。親鳥♂♀が給餌している。ライブ映像実施。数日後突然雛がいなくなる。巣立ちか捕食か不明。写真有り。



に、瀬戸内側でも光市牛島から上関町小祝島間の海上での観察記録がある。徳山市櫛ヶ浜沖合や光市室積海岸等で衰弱した個体が徳山動物園に保護されていること等から、瀬戸内海側でも未記録の繁殖地があるかもしれない。今回その瀬戸内側の上関町宇和島で飯田・山本(53)、嶋田(54)、渡辺・上田・飯田(55)、レッドリスト上関編集委員会(56)によって新たに繁殖が確認された。これは山口県における本種の瀬戸内側での初繁殖記録である。

熊毛郡上関町天田島 2009/7/4 古巣4巣 飯田知彦・山本貴仁 宇和島で確認したオオミズナギドリの巣穴と類似する古い巣穴4巣を発見。巣穴の直径は約15cm。近くでは掘りかけの巣穴と思われる穴も複数確認。2009/9/7飯田撮影の写真有り (53, 54)

熊毛郡上関町宇和島 2009/9/7 雛1羽巣数十個 飯田知彦・山本貴仁 数十個の巣穴と1羽の雛を確認。写真有り (53, 54)

熊毛郡上関町宇和島 2011/8/\* 75巣 飯田知彦・山本貴仁 8月の調査時にはタブノキなどが生える急斜面を中心に合計75巣を確認。巣穴は直径約15cmの円形 (53)

熊毛郡上関町宇和島 2010/9/19 雛1羽 嶋田淑子 雛1羽を確認。写真有り (54)

熊毛郡上関町宇和島 2010/\*\*~2015/\*\* 渡辺伸一・上田健悟・飯田知彦 2010年以降宇和島全島でオオミズナギドリの生息状況を調査。2010年から2015年までの繁殖状況は抱卵期(6月)に利用した巣は17~57巣。巣立ち数は4~32羽。繁殖成功率(抱卵期中に利用した巣のうち育雛後期まで雛が生存した割合)は24~57%と年間で大きく変動。特に2010年はわずか4巣で、ほとんどの巣で繁殖期中に卵ないし雛が消失した。2010年の調査中にしばしばネズミ類を目撃。2010年8月から2011年8月に殺鼠剤によるネズミ駆除を実施。2011年以降の利用巣数や繁殖成功率が上昇。2014年までは巣は島の北側に限られていたが、2015年に島の南側に新たに21巣を発見。写真無し (55)

## 2. オオバン *Fulica atra*

ツル目クイナ科。日本鳥学会(4)によれば北海道には夏鳥として飛来して繁殖し、本州以南では留鳥として繁殖又は冬鳥である。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版ではただ1ヶ所、宇部市厚南区西沖干拓地で繁殖が確認された。2000年版では繁殖確認が宇部市西沖干拓地及び宇部市西沖の山と熊毛郡平生町人島の3ヶ所2サブメッシュで記録された。他に繁殖ランクC(生息確認)が2サブメッシュで記録されたが、いずれも瀬戸内側の平野部の記録であった。2007年9月には開作(57)によって長門市三隅でも雛が観察された。今回、山口市阿知須や下関市で繁殖記録を得た。山口市阿知須さらら浜自然観察公園 2005/7/17 成鳥1羽雛1羽 恩塚正則 公園内のヨシ原内の池で親鳥が水面で餌を捕って雛に与えていた。写真無し。

長門市三隅下 2007/9/15 雛1羽 開作秀敏 三隅川河口横でシギ・チドリの調査中にオオバンの雛を観察。環境は仙崎湾に注ぐ三隅川の河口部で、ハス田と休耕田とヨシの繁った池 (57)

下関市工領開作 2009/6/24 成鳥2羽雛1羽 國廣廣子 両親が水中の藻を取り雛に与える。写真有り。

## 3. アマツバメ *Apus pacificus*

アマツバメ目アマツバメ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し本州、佐渡、セツ島、四国、九州、

伊豆諸島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では今まで本種の繁殖は確認されていなかったが、熊毛郡上関町叶島で繁殖が内山(58)によって確認された。それ以外では県内陸部の山地や海岸部に散発的に記録が認められるだけで稀である。2000年版では繁殖期の5～7月には日本海側では萩市相島から須佐町にかけての島嶼やその周辺の山地や、瀬戸内側では山本(59)によって繁殖が確認された上関町叶島と柳井市八島の周辺の島嶼に記録が集中していた。この事から日本海側にも未知の繁殖地があるものと思われる。今回新たに嶋田(54)によれば瀬戸内側の柳井市ハンドウ島で繁殖が確認された。

柳井市ハンドウ島 2014/5/17～6/28 鈴木啓紀・高島美登里 5/17ハンドウ島でロッククライマーの鈴木がアマツバメの巢中の卵1個を確認。写真有り。羽根2枚を採取。6/28鈴木と高島が雛を1羽確認。写真有り (54)

#### 4. ケリ *Vanellus cinereus*

チドリ目チドリ科。日本鳥学会(4)によれば本州北部には夏鳥として飛来して繁殖。本州中部、南西部では留鳥として繁殖。長野、埼玉、山口、香川、福岡、佐賀、熊本でも繁殖記録がある。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では稀な冬鳥であったが、近年観察記録が増えて来ていて、1989年に岩国市尾津町のハス田で佐々木・弘中・澤田(60)が繁殖を初めて確認した。2000年版では岩国市尾津町のハス田で3件の観察記録があり生息が確認されただけである。今回新たに澤田(61)、山本(62, 63)による岩国市尾津と下関市で繁殖に関する記録を得た。

岩国市尾津 2007/4/\* 澤田千晶 2007年4月に実施したシギ・チドリ類の山口県内一斉調査報告の中で、以下のケリの抱卵に関する情報を戴いた。これは本種の山口県内2番目の繁殖記録であり、同所で1989年に確認されて以来約20年振りの記録である。内容は以下のとおり。

ケリが4週間近く抱卵したのですが、畦道の作業で巣が動かされたのを嫌って？か、放棄してしまいました。夕方に抱卵しているのを確認して！家に帰ったのですが、翌朝には巣から離れていました。・・・残念です！原文のまま (61)

岩国市尾津3丁目 2013/9/12 若鳥1羽 山本健次郎 佇んで休息、手入れをする。近くの田に2羽、さらに離れた田に1羽いた。写真有り。

下関市白崎3丁目 2014/5/7 若鳥1羽 國廣文隆 ジーと畦に立っていた。地元では初認。第一発見者は安井氏。写真有り。

岩国市尾津3丁目 2015/7/25 成鳥2羽幼鳥3羽 山本健次郎 1枚だけハスの無い田んぼ。草むら歩きを採食したり、手入れ、伸びをしたりする。時々飛び立って移動するがよそには行かない。当地で繁殖か？ 写真有り (62)

岩国市尾津3丁目ハス田 2015/8/30 成鳥幼鳥10羽 山本健次郎 いくつかのハス田に分散して休息、歩行する。時に飛び立つ。写真有り (63)

#### 5. ウミネコ *Larus crassirostris*

チドリ目カモメ科。日本鳥学会(4)によれば北海道、利尻島、天売島、松前小島、ユルリ島、モユルリ島、

大黒島、燕島、三貫島、飛島、椿島、杳島、沖蛇島、経島、甌島諸島、男女群島では夏鳥として飛来し繁殖、本州、粟島、七ツ島、隠岐、伊豆諸島では留鳥として繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では瀬戸内側、響灘側、日本海側の沿岸部に生息が記録されたが、繁殖に関する観察記録はない。しかし、鳥根県では繁殖地の南下拡大傾向が見られ、今後山口県内でも繁殖が確認される事も考えられる。

2000年版では小川・三宅(64)によって日本海側の長門市通鹿の島と、原田(65)によって萩市相島で繁殖が確認された。これは本種の山口県における初めての繁殖記録である。分布は繁殖が確認された萩市周辺の日本海側と、瀬戸内側の屋代島、長島、平郡島周辺に集中しており、光市室積で求愛給餌行動も観察されている事等から、瀬戸内側でもこの地域に繁殖地がある可能性が高い。今回新たに萩市玉江浦漁港で三谷(66)、鹿間(67, 68, 69)によって繁殖が確認された。

萩市玉江浦漁港 2013/5/17~6/13 成鳥800+羽雛・幼鳥300羽 三谷栄治 5/17漁網などの上にウミネコが座り抱卵しており、時々立って卵を確認している様子も見られた。6/13雛が多く見られ、300羽以上の雛や幼鳥と800羽以上の成鳥を確認した。写真有り(66)

萩市玉江浦漁港 2015/5/11 成鳥400±羽雛150±羽 三谷栄治 成鳥が約400羽、雛が約150羽と、どちらも2013年の繁殖期に較べて半減していた。営巣地の環境に変化は見られず、繁殖する個体数が大幅に減少した原因はよく分からない。写真有り(66)

萩市玉江町玉江漁港内 2015/6/6 成鳥雛150±羽 鹿間信弘 漁港内、橋本川中程の栈橋上に放置してある古い網やロープの隙間を使って繁殖していた。雛の状態から巣立ち雛の状態まで40~50羽はいる。親鳥は雛の側で見守り、他の成鳥が近づくと威嚇して追い払っていた。餌は親鳥が吐き出して与えていた。写真有り(67)

萩市玉江町玉江漁港内 2015/6/24 成鳥幼鳥150±羽 鹿間信弘 6/6時点で雛から多くが幼鳥へと成長し10数羽が海にプカプカと浮かび海藻や浮遊物をおもちゃに戯れる。写真有り(68)

萩市玉江町玉江漁港内 2016/4/22 成鳥200羽 鹿間信弘 昨年同様繁殖中。既にかかなりの番が放置された網などに入って抱卵し、また20分の観察中に5つがいが求愛から交尾へと移る。写真無し(69)

萩市玉江町玉江漁港内 2016/5/27 成鳥雛300+羽 鹿間信弘 漁港内の堤防の放置されたロープ・網等の漁具を利用して繁殖。双眼鏡で見える範囲内で雛を97羽確認。まだ抱卵中の親もいる。写真有り(69)

## 6. コアジサシ *Sterna albifrons*

チドリ目カモメ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し本州、四国、九州、奄美諸島、琉球諸島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では瀬戸内側の沿岸部の埋立地や河川の下流部で、1979年から1989年の間に5ヶ所の繁殖地が報告された。日本海側では生息記録が少なく、繁殖記録はない。2000年版では繁殖記録はなく、生息が瀬戸内側の海岸部の5サブメッシュで記録されただけで分布の縮小傾向が顕著である。しかしながら今回、小林(70, 71)による周南市と梶畑(72)による下関市での新たな繁殖を得た。

周南市晴海町晴海埠頭 2007/8/16 40±羽内幼鳥8羽 小林繁樹 埋め立て地上空を飛翔したり、埠頭のセメント護岸上で40±羽内幼鳥8羽が休息。親鳥が幼鳥に小魚を給餌するのを2回観察した。写

真有り (70, 71)

周南市晴海埠頭 2008/7/1~7/25 小林繁樹 7/1成鳥雛200±羽。45±巢。抱卵、雛への給餌確認。卵2卵が多い。7/25成鳥雛150±羽。50±巢。卵、雛の他幼鳥2羽も。写真有り (71)

周南市晴美埠頭埋立地 2008/7/19 100+羽 山根和親 コアジサシの集団コロニーに餌を運ぶ100羽以上。写真無し。

下関市長州出島人工島 2013/7/17 350±羽 梶畑哲二・崎内民生・浅田晴男 港湾局の許可を得て人工島で観察。埋立地内は水面があり、また草地もなくコアジサシの絶好の繁殖地。350±羽ほどのコロニーで大きな群れが上空を飛び、地上には雛も見られた。写真有り (72)

#### 7. カンムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume*

チドリ目ウミスズメ科。日本鳥学会(4)によれば留鳥として七ツ島、耳穴島、杳島、幸島、小屋島、筑前沖ノ島、甌島諸島、枇榔島、伊豆諸島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では僅かに3サブメッシュが記録されただけであるが、萩市相島~尾島間の海上で脊戸(73)による成鳥2羽と雛と思われる2羽の記録がある。

2000年版では僅かに西村(74)による大島郡東和町沖家室島沖合いでの観察記録があるだけだが、繁殖期の観察記録であり詳細な調査を行えば繁殖地が発見されるかもしれない。今回その瀬戸内海西部で飯田(75)、上関の自然を守る会(76)、レッドリスト上関編集委員会(56)により複数の家族群が初確認された。

熊毛郡上関町八島沖の瀬戸内海 2008/5/30 3家族群 (成鳥1羽雛2羽からなる群れを3群) 合計9羽  
飯田知彦 16:07 33° 41' N, 132° 03' E 八島の南西約4kmの海上で1羽の成鳥の親鳥と2羽の雛の家族群を確認。写真有り。16:23 33° 41' N, 132° 06' E 八島の南西約4kmの海上で1羽の成鳥の親鳥と2羽の雛の家族群を確認。17:28 33° 42' N, 132° 10' E 八島の南東約2.5kmの海上で1羽の成鳥の親鳥と2羽の雛の家族群を確認。親鳥から雛への給餌も確認。給餌内容は全長5cmのカタクチイワシの様に思われた (75)

熊毛郡上関町八島~宇和島間海域 2008/5/30 雛1羽 山本尚佳 写真有り (76)

熊毛郡上関町八島南西海域 2009/5/18 成鳥2羽雛2羽 武石全慈 写真有り (76)

熊毛郡上関町天田島東方海域 2012/5/20 成鳥1羽雛1羽 武石全慈 写真有り (76)

熊毛郡上関町天田島南方海域 2015/5/27 成鳥1羽雛2羽 武石全慈 写真有り (76)

熊毛郡上関町八島~宇和島間海域 2016/5/14 成鳥2羽雛1羽 撮影者不明 写真有り (76)

熊毛郡上関町八島~宇和島間海域 2016/5/22 成鳥1羽雛2羽 撮影者不明 写真有り (76)

熊毛郡上関町宇和島と八島間 2016/5/22 成鳥1羽幼鳥2羽 SY 幼鳥を連れた家族群。写真有り (56)

#### 8. チュウヒ *Circus spilonotus*

タカ目タカ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し北海道、南千島で繁殖。留鳥として一部が本州でも繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では冬期少数が干拓地、河口部のヨシ原に生息し越冬するものの、繁殖期には記録がなかったが、最近になって

繁殖期にも観察例が出始めた。2000年版では県西部の瀬戸内側のヨシ原で繁殖期に極く僅かな観察記録があり、1998年と1999年には原田・加藤(77)、原田(78)によって宇部市西沖干拓地で山口県初繁殖が確認された。今回、山口市阿知須で新たに繁殖兆候の観察記録を得た。

山口市阿知須きらら浜自然観察公園 2007/5/7 1羽 原田量介 きらら浜自然観察公園のヨシ原上空でチュウヒのディスプレイフライトや巣材運びを観察。写真有り。

山口市阿知須きらら浜自然観察公園 2007/6/1 巣 原田量介 きらら浜自然観察公園のヨシ原のほぼ中央あたりにチュウヒの巣を確認。水深約10cm。周辺のヨシ丈約2m。巣の大きさは長径 縦横約80cm。高さ43cm。巣材はセイタカアワダチソウ、ヨシ、クズの蔓、小枝、タデの茎など。巣としては完成と思われるが、繁殖の形跡無し。羽繕いで抜けたと思われる綿羽が少しとペリット2個を確認。写真有り。

#### 9. ブッポウソウ *Eurystomus orientalis*

ブッポウソウ目ブッポウソウ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として飛来し本州、四国、九州で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では島根県との県境にある玖珂郡錦町宇佐深谷大橋の橋梁部に営巣する事が知られているだけであったが、新たに徳山市菅野ダムの2ヶ所で繁殖地が確認された。2000年版では徳山市菅野ダム川久保橋で1990年に川本(79)が繁殖を確認した例と、玖珂郡錦町宇佐深谷大橋で1993年に川本・澤田ほか(80)がオシドリの営巣確認時にブッポウソウが橋脚の穴を利用した観察例、および1996年に同所で求愛給餌が観察されたが、それ以降両方とも繁殖に関する情報は無く、最近10年間は生息に関しても情報が無い。そこでブッポウソウの繁殖地を再び復活する為に、2004年から営巣適地と思われる場所に巣箱を架設する試みが立野(81)によって行われ、その努力の甲斐あって2007年に初めて周南市で立野(82)が巣箱営巣を確認し、小林・立野(83, 84)によればその後繁殖記録が増加してきている。

周南市 2007/8/\* 立野昌宏 ブッポウソウが巣箱に営巣し、子育て(82)

周南市 2010/5/\*~2010/7/\* 成鳥2羽雛2羽 立野昌宏・小林繁樹 2007年に中国電力(株)の許可、協力を得て巣箱架設し、2010年に初めて営巣し、観察の結果2羽が巣立った。10/21に巣箱の点検を兼ねて巣箱内容物を採取。餌に起因するオニヤンマ、ショウリヨウバッタモドキ、ヒグラシ、コガネムシ科sp等のほか、卵殻のかけら、ジジミ、アサリ等の貝類、プラスチック片、小石、磁気片を確認した(83)

周南市 2011/5/\*~2011/7/\* 成鳥2羽雛1+羽 立野昌宏・小林繁樹 上記2010年に営巣した同じ巣箱に2年連続して繁殖に利用。雛は確認したが、巣立ち雛数は不明。9/22に巣箱清掃点検時内容物を採取。餌に起因するニイニイゼミ、ショウリヨウバッタモドキ、キリギリスsp又はバッタ科sp、コガネムシ科sp等のほか、カタツムリsp、卵殻のかけら、ジジミ、プラスチック片、小石、金属片を確認した(84)

周南市 2015/5/17~7/5 成鳥2羽雛数不明 竹林賢二 巣箱でブッポウソウが繁殖行動。写真有り。

## 10. サンコウチョウ *Terpsiphone atrocaudata*

スズメ目カササギヒタキ科。日本鳥学会(4)によれば亜種サンコウチョウが夏鳥として飛来し本州、粟島、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、屋久島で繁殖する。亜種リュウキュウサンコウチョウが夏鳥として飛来しトカラ列島、奄美諸島、琉球諸島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では極く少数が山地で記録され、さえずりの記録は得られたが、繁殖記録はない。2000年版では分布の拡大傾向が顕著で、県内全域で確認され、保井(85)、水口(86)が豊浦郡菊川町下保木で、小林・原田(3)によれば宇部市霜降山でも繁殖が確認された。今回、崖(87, 88, 89)、村田稔恵(90, 91)、村田美津子(92)、山本健次郎(93)、山本尚佳(94)、國廣(95)によって県内各地から多数の繁殖記録が報告された。

宇部市霜降山 2000/6/10~7/20 崖登司之 6/10♀1羽がホイホイホイと鳴く。初認。7/20成鳥♂1羽 ♀1羽巣立ち直後の雛4羽の家族群確認 (89)

宇部市厚東区霜降山 2000/7/26 成鳥2羽幼鳥3羽 原田量介 家族群。♂が盛んにさえずっている林内のコナラの枝で♀が餌を探してきては雛に与えていた。給餌はほとんど♀が行っていたが♂が一度だけガを捕獲、嘴でくわえ枝に何度もたたきつけ羽根をもぎ取って雛に与えた。カスミ網で雛1羽を標識放鳥した。写真有り (3)

宇部市霜降山 2001/6/2~7/14 崖登司之 6/2初認。7/14♀成鳥1羽幼鳥3羽。調査往路で♀成鳥1羽がホイホイホイ、グッチッチッと鳴きながら10m近くまで来て警戒。3時間後の復路、同じ場所で巣立ち雛3羽を連れて飛び回っていた (87, 89)

宇部市霜降山 2002/5/18~8/15 崖登司之 5/18初認。7/27♂♀成鳥2羽観察。木より垂れ下がっているアケビの交差部に逆円錐形の巣を地上約3mに作り♀が抱卵していた。8/15巣立ち (88, 89)

宇部市霜降山 2002/9/14 ♂♀成鳥2羽♂幼鳥1羽 崖登司之 家族群。数m先の枝で♂がさえずる。口笛で真似ると♀と♂幼鳥1羽が数m先の枝に来た。8/15に巣立ちした4羽の内の1羽と思われる。写真無し。

宇部市霜降山 2003/5/17~7/28 崖登司之 5/17初認。7/28カシ枯れ木にかけた巣で育雛(4羽)確認。7/30巣立ち (89)

宇部市霜降山 2004/5/7~7/23 崖登司之 5/7初認。2番が繁殖。A巣アケビに営巣。7/2巣立ち直後の雛3羽確認。B巣6/23ツバキの枝に巣造り中。7/12孵化。7/23 3羽巣立ち (89)

宇部市霜降山 2004/7/4 成鳥幼鳥5±羽 村田稔恵 家族群。高い梢辺りを♂1羽と他に4~5羽が飛び回っていた。家族群と思われた。写真無し。

宇部市霜降山 2004/6/28~7/14 村田稔恵 サンコウチョウの巣があるとの知らせで観察。6/28巣は地上3m位の高さでツバキの細枝を使用。ほぼ完成していた。7/14♂の抱卵を確認。写真有り (90)

宇部市霜降山 2004/7/16~7/23 村田稔恵 7/16♂の給餌に雛2羽が顔を出す。7/20雛3羽を確認。7/23朝雛2羽が巣の縁でしきりに羽ばたきを繰り返す。同日18時頃3羽とも巣立ちしたと連絡を受けた。写真有り。

宇部市霜降山 2004/7/24 ♀成鳥1羽幼鳥1羽 村田美津子 家族群。昨日夕方6時に巣立ったサンコウチョウの雛が広葉樹の横枝に止まり、♀親鳥が給餌した。写真無し (92)

- 宇部市霜降山 2004/8/6 ♂幼鳥1羽♀幼鳥1羽 村田美津子 巢立ち雛。まだ首が細く頭にウブ毛が残っているが大きさはほぼ成鳥♀位の2羽♂♀が広葉樹林内を飛び交っていた。写真無し。
- 宇部市霜降山 2005/5/3～7/3 崖登司之 5/3初認。2回営巣するも途中放棄。A巢枯れ枝に営巣。6/9抱卵中確認。6/21巢を放棄。B巢カシ枝に営巣。6/25抱卵中確認。7/3巢放棄 (89)
- 宇部市厚東霜降山 2005/6/11～6/21 村田稔恵 卵か雛のいる巢。6/11サネカズラにぶら下がり風で揺れるY字形の枯れ枝に巣造りし、20日の探鳥会時も親鳥が巣ごもり。21日以降姿を見ない。写真有り。
- 宇部市厚東霜降山 2005/8/5 ♂成鳥1羽♂幼鳥2羽 村田稔恵 家族群。♂幼鳥2羽が側の木立の辺りをジュツジュツと鳴きながら飛んでいた。その後♂成鳥1羽もいた。写真無し。
- 宇部市霜降山 2006/5/8～7/12 崖登司之 5/8初認。7/12終認。繁殖確認できず (89)
- 宇部市霜降山 2006/6/7 ♂♀成鳥2羽幼鳥2羽 村田稔恵 家族群。親鳥♂♀と幼鳥2羽が鳴きながら飛び回り蛾等の餌を採っていた。写真無し (91)
- 宇部市霜降山 2007/5/17～6/25 崖登司之 5/17初認。5/20枯れ枝に巣造り。6/25 雛3羽の巣立ち確認 (89)
- 光市室積峨嵯山 2001/6/4～7/7 山本健次郎 6/4♂1羽♀1羽が巢材運び。林内の高木の一端、V字型に垂れた小枝にクモの糸、木の皮、細い枯れ枝等で作られた巢があり、♂♀が交互にクモの糸や木の皮等をくわえて来て巣を作っている。交替で♂(尾羽が短い若鳥)と♀が鳴き交わしながら林内を飛び交う。写真無し。6/6♂1羽♀1羽が巢材運び。蒸し暑い森の中で盛んに鳴きながら♂♀交互にクモの糸等をくわえて来て巣作りを行う。写真有り。6/8♂1羽♀1羽が巢材運び。巢はほとんど完成し♀だけが時たま巣に戻り最後の仕上げをしている。その間♂は全く巣に近寄らず、相当離れたところでホイホイホイとさえずっている。写真有り。6/20♀1羽が抱卵。♀が巣にうずくまりじっとしている。10分に1度位立ち上がるがすぐうずくまる。頭の向きは一定。15時から15分ほど巣を離れる。写真有り。7/2♀成鳥1羽 給餌。ほぼ5分間隔で4回巣を離れては戻る。羽根のついた虫をくわえている。5回目に戻るとそのまま巣にうずくまる。巢の完成前後から♂の姿が消え鳴き声も全く聞かれない。写真有り。7/7成♀1羽雛2羽。♀が2～3分おきに虫をくわえて戻る。雛は2羽。親は1回に1羽の雛に交互に餌をやる。採餌は巢近くの樹間の高い所でホバリングしつつフライキャッチする。時々雛の白い糞をくわえ離れた所に運ぶ。雛は産毛が生え揃い、頭がすでに黒っぽい。♀は巢近くで控えめにグイーグイーと鳴く。写真有り (93)
- 上関町長島四代田ノ浦 2004/7/18 ♂成鳥1羽♀幼鳥?1羽 山本尚佳 声がしたので口笛で真似をしていると、♂成鳥1羽がすぐ近くへやってきた。後で幼鳥と思われる目の周りの綺麗な♀型の個体が見られたので、繁殖の可能性が大だが観察不十分。写真有り (94)
- 旭村小吹峠 2006/5/30 ♂成鳥1羽 恩塚正則 巢材運び。杉林でスギの薄皮をくわえて奥の方へ飛んでいった。写真無し。
- 豊田町華山 2004/7/5 ♂♀成鳥2羽卵1+個 國廣文隆 ♂がギビィ・ギビィと鳴き近くの枝から枝へ飛び回っていたが、フィチャー・フィフィフィと鳴きながら♀も近くの枝に2回寄って来たので、おやっと思ひ辺りをよく見ると巣を発見。♀が抱卵していた。あまりにも近くに巣があったので速やかに去った。写真有り (95)

下関市華山 2007/6/1~7/15 安井平造・安井成子 スギ植林地で繁殖。6/1サンコウチョウの声。♂の姿確認。6/2午前。巣を確認。造巢中。♀が巢材運び? その後♂・♀が短時間座り巣を整えているような感じの動きあり。6/6♀が座ったり離れたりの繰り返し。♂は声のみ。6/11♂・♀とも短時間座ったり離れたりの繰り返し。6/13♀が15分くらい。♂が30分くらい座っていた。抱卵中か? 6/16♀が座っているのを確認。6/23交互に15分~20分くらい抱卵。あまり時間をおかず交代。6/27交互に抱卵中(交代はすばやい)。♀から♂に代わり、♂が卵をひっくり返すようなしぐさ。7/8雛3羽確認。♂・♀交互に給餌。7/15巣にサンコウチョウの姿は見え、遠くで声のみ。巣立ちは確認できなかった。写真有り。

下関市菊川町大字貴飯 2007/6/12 成鳥1羽 藤原正徳 餌運び。餌をくわえて山中へ飛ぶ。写真有り。

下関市豊田町華山 2014/6/7~7/9 國廣文隆 6/7♂♀で巣を作っていた。7/9 2羽の雛が巣立った。写真有り。

#### 11. コガラ *Poecile montanus*

スズメ目シジュウカラ科。日本鳥学会(4)によれば留鳥として北海道、本州、佐渡、四国、九州(熊本、宮崎、鹿児島)で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では島根、広島県境付近の山地と、山口市21世紀の森で生息及び家族群、巢材運びの記録を得た。2000年版でも県東部の山地で僅かに記録されるという分布に大きな違いは認められない。繁殖記録はなくさえずりが記録されただけである。今回、恩塚(96, 97, 98, 99, 100, 101, 102, 103)による山口市東鳳山での記録のほか、玖珂郡錦町、山口市徳地で多数の繁殖に関する記録を得た。

山口市東鳳山山地蔵峠付近 2003/6/30 成鳥幼鳥5羽 恩塚正則 家族群と思われる5羽が雑木林に飛んで来て忙しく動いていた。写真無し (96)

山口市東鳳山 2004/6/5 成鳥1羽幼鳥2羽 恩塚正則 コガラの成鳥1羽幼鳥2羽がエナガと混群となり忙しく動きながら移動していく。写真無し (97)

山口市東鳳山 2004/7/20 成鳥1羽幼鳥2羽 恩塚正則 成鳥1羽幼鳥2羽がチイチイ鳴きながら枝先で餌を探しながら移動していった。写真無し (98)

玖珂郡錦町寂地山登山道 2005/6/23 成鳥2羽幼鳥3羽 岩井清陸 樹間に巣立ち雛3羽と親鳥と思われる成鳥2羽が止まり、チーチーシュクシュクと鳴きながら移動する。写真無し。

山口市東鳳山 2008/7/19 幼鳥1羽 恩塚正則 シジュウカラ幼鳥1羽他と混群で餌を探していた。喉の黒斑が小さかった。写真無し。

山口市東鳳山 2008/7/28 成鳥1羽幼鳥1羽 恩塚正則 成鳥1羽幼鳥?1羽が枝先で餌を探していた。幼鳥?は頭部の白黒の境目がぼやけていた。写真無し (99)

山口市東鳳山 2009/6/26 幼鳥2羽 恩塚正則 喉、頭上の黒色が薄い幼鳥2羽が枝先で餌を探していた。写真無し (100)

山口市東鳳山 2009/7/6 幼鳥1羽 恩塚正則 頭部の黒色が淡く、白色との境目がはっきりしない幼鳥が枝先で長さ1cmの虫を食べた。写真無し (101)

山口市東鳳山 2009/7/15 幼鳥1羽 恩塚正則 幼鳥1羽がチッチッと鳴きながらヤシヤブシの枝先

で餌を探していた。写真無し。

山口市東鳳翺山 2009/9/8 幼鳥1羽 恩塚正則 枝先で虫2匹をペロリと食べた。写真無し。

山口市東鳳翺山 2010/7/2 幼鳥1羽 恩塚正則 チッ、チッと鳴きながらメジロ3羽と枝先を移動して行った。写真無し。

山口市東鳳翺山 2011/6/25 幼鳥3羽 恩塚正則 チイッチイッと鳴きながら枝先で餌を探しながら動き回っていたが、5m以上は飛ばなかった。写真無し (102)

山口市徳地日暮ヶ岳 2014/6/7 5羽うち幼鳥3羽 山根和親 見晴らしの丘から山頂間の落葉広葉樹林帯で、幼鳥3羽を含む群れを確認した。写真有り。

山口市東鳳翺山 2014/6/8 幼鳥2羽 恩塚正則 幼鳥2羽が枝先から枝先へと移って行った。写真無し (103)

## 12. ミソサザイ *Troglodytes troglodytes*

スズメ目ミソサザイ科。日本鳥学会(4)によれば亜種ミソサザイが留鳥として北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、伊豆諸島(大島)で繁殖。亜種モスケミソサザイが留鳥として伊豆諸島(神津島、三宅島、御蔵島、八丈島)で繁殖。亜種ダイトウミソサザイは絶滅。亜種オガワミソサザイが留鳥として屋久島、種子島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では7例の観察記録を得た。玖珂郡錦町寂地山、寂地峡ではさえずりを記録しており今後繁殖が確認されるかも知れない。2000年版では分布が拡大し、県東部の山地に集中して玖珂郡錦町寂地山で岩井(104)によって造巢行動が観察された。今回、村田美津子(105)が玖珂郡錦町で、恩塚(106)が山口市で、山本健次郎(107)が岩国市錦町で繁殖行動を記録した。

玖珂郡錦町寂地山登山口付近 1994/6/5～8/7 岩井清陸 6/5頻繁に巣材を運ぶ。6/25第1の巣を発見。その後8/7まで観察。第2から第6までの巣を見つけたものの外装だけで、内装はされず卵も確認出来なかった。写真有り(104)

玖珂郡錦町寂地山 2004/4/30 1羽 村田美津子 溪流沿いの崖の上、大きな松の根元が洞になっており、そこにコケの様なものをくわえて入った。写真無し (105)

山口市21世紀の森 2006/6/8 1羽 恩塚正則 繁みから林道に出て来て10秒でまた繁みに入った。これを2回繰り返した。餌を探している様で繁みの斜面には巣がありそうな暗い穴があった。写真無し (106)

岩国市錦町寂地山 2006/6/10 成鳥1羽 山本健次郎 溪流沿いの斜面上部のくぼみにコケヤシダの葉をくわえて何度も出入りする。近くに別の2羽の♂がさえずる。写真有り (107)

## 13. トラツグミ *Zoothera dauma*

スズメ目ヒタキ科。日本鳥学会(4)によれば亜種トラツグミが夏鳥として北海道、南千島、隠岐で繁殖。留鳥として本州、佐渡、四国、九州、対馬、屋久島、種子島、伊豆諸島、小笠原諸島、硫黄列島で繁殖する。亜種オオトラツグミが留鳥として奄美大島、加計呂麻島で繁殖する。亜種コトラツグミが留鳥として西表島で繁殖するが、1984年以降最近の確実な観察例はない。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版

繁殖分布調査によると1990年版では県中央部から島根県境にかけての日本海側に、生息記録を比較的多く得た。さえずりの記録は多かったが、確実な繁殖記録はない。2000年版では記録は内陸部の山地が中心で、分布は縮小する傾向があるが、山口市東鳳翻山で家族群が観察された。今回、山口市周辺で岩井(108)、恩塚(109, 110, 111, 112, 113)、今井(114)、林(115)によって複数の繁殖に関する報告があった。

山口市宮野上金山21世紀の森管理棟駐車場付近 1998/5/30 成鳥1羽 岩井清陸 まだ明け切らぬ早朝駐車場を出てキャンプ場の方へ20～30m行った県道横の花壇でトラツグミがミミズを3匹くわえ、まだ探している様だった。観察者を警戒したのか右の雑木林の間に低く飛んで入った。写真無し(108)

山口市東鳳翻山 2000/8/5 成鳥幼鳥5羽 恩塚正則 標高500mの林道に家族群5羽がいた。写真無し(8)

山口市東鳳翻山 2002/7/24 3羽 恩塚正則 ピーッピーッと近くで鳴くので林道をゆっくり行くと100m先の木に止まる。50m位に近づくと100m先へ飛んだ。家族群の様だ。写真無し。

山口市東鳳翻山 2004/7/18 幼鳥1羽 恩塚正則 林道から3m上の枝に飛び、キョロキョロしていた。写真無し。

山口市東鳳翻山 2004/7/30 幼鳥2羽 恩塚正則 林道をウォーキングで走りながら餌を探していた。

5cm位のミミズをくわえ走っているともう1羽林道に出てきて2羽で餌を探していた。写真無し(109)

山口市東鳳翻山 2007/8/8 4羽 恩塚正則 家族群と思われる4羽が林道で落ち葉の中で採食していた。写真無し(110)

山口市東鳳翻山 2008/6/3 成鳥幼鳥3羽 恩塚正則 小雨の降る林道で1家族?3羽で餌を探していた。写真無し(111)

山口市東鳳翻山 2008/7/20 幼鳥1羽 恩塚正則 幼鳥1羽が林道で採食していたが茂みに入るとガツガツと地鳴きが聞こえた。写真無し。

山口市東鳳翻山 2009/7/12 成鳥1羽 恩塚正則 林道上4mの枝に丸見えの状態では止まっていた。濃霧の中、ゆっくりと5m迄近づくと3匹のミミズをくわえていた。5分位してやっと飛んだ。写真無し(112)

山口市東鳳翻山 2009/7/27 成鳥1羽 恩塚正則 林道から飛び立ち近くの枝に2分以上止まっていた。ミミズ大小5匹位くわえていて、いつもよく鳴いている所に飛んだ。写真無し(113)

山口市巾尾地蔵峠南 2012/6/15 成鳥1羽 今井章彦 路上でミミズを採集。写真有り(114)

山口市徳佐十種ヶ峰 2016/8/16 成鳥1羽 林 眞寛 餌運び。道路そばの草むらでミミズを採っていた。写真有り(115)

#### 14. コサメビタキ *Muscicapa daurica*

スズメ目ヒタキ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島で繁殖する。日本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1973年に山口市八坂神社での繁殖記録が日本野鳥の会山口県支部(116)に記載されているが、1990年版では極く少数の生息さえずりの記録だけである。2000年版では光市牛島と宇部市で幼鳥の観察記録があり、繁殖の可能性が高い。今回、光市で幼鳥を観察、宮川・石崎(117)によって山口市では営巣が確認された。

光市コバルトライン東側 2012/7/10 幼鳥1羽 山本健次郎 コバルトライン路上で採食していたが人の接近で電線に移る。頭上と肩に白斑がありコサメビタキの幼鳥の様だ。写真有り。

山口市香山公園 2016/5/7~6/9 成鳥2羽雛5羽 宮川輝男・石崎哲夫 香山公園の池の傍に立つ樹木の枝に営巣。5/7♂♀が枝の同じところに頻繁に出入りする行動から巣を発見。5/11ハシブトガラスが巣中の雛1羽を捕食。5/17再抱卵しているようで♀は巣から出ることはほとんどない。♂は頻繁に♀へ給餌。5/19抱卵中。5/21餌を運ぶ以外♂は巣から3~10mの範囲内に止まっている。護衛行動か？5/31♀が巣を離れることが多くなり、巣内に雛2羽確認。親鳥が給餌。6/1親鳥の給餌が続く。6/6雛の羽ばたき練習が頻繁に続く。6/7夕刻、巣の上部で元気に動いていた雛2羽のうち1羽が巣から枝上に移動した。18時2羽目が巣立つ。巣中で3羽が頭を出している。つまり雛は5羽いたことになる。6/8残った雛は午前1羽が巣立ち。6/9他の雛も巣立ったようで親子ともに巣に戻ることはなかった。写真有り (117)

#### 15. イカル *Eophona personata*

スズメ目アトリ科。日本鳥学会(4)によれば夏鳥として北海道、粟島で繁殖。留鳥として本州、佐渡、隠岐、四国、九州で繁殖する。(本野鳥の会山口県支部(7, 8)の山口県版繁殖分布調査によると1990年版では県西部を含むほぼ県下全域の山地に生息する。平野部には生息記録が少ない。さえずりの記録は多いものの確実な繁殖記録はない。2000年版では県内全域の山地に生息するという分布域に変化はない。さえずりの記録は多いが確実な繁殖記録はない。今回、恩塚(118, 119, 120)が山口市で、鹿間(121)が美祢市で巣材運びや家族群を記録した。

山口市兄弟山 2005/6/21 成鳥幼鳥3羽 恩塚正則 長く鳴いた後、家族群3羽で飛び去った。写真無し。

山口市兄弟山 2005/8/8 成鳥幼鳥5羽 恩塚正則 キョッ、キョッと鳴きながら家族群と思われる5羽が頭上を飛ぶ。木に止まってからキーコーキーとよく鳴いた。写真無し (118)

山口市兄弟山 2006/7/6 成鳥幼鳥5羽 恩塚正則 キーコーキー又はキョッキョッと鳴きながら一家と思われる5羽が飛び回っていた。写真無し (119)

山口市21世紀の森 2008/6/6 成鳥幼鳥4羽 恩塚正則 家族群と思われる4羽が桜の木に飛んで来て熟した実だけを採食。ジャーとカケスに似た鳴き声が聞こえた。これは幼鳥？ 写真無し (120)

美祢市美東町杉山地区鐙峠 2014/6/30 成鳥2羽 鹿間信弘 2羽が巣材をくわえて運んでいた。写真無し (121)

#### 4. まとめ

今回の山口県産繁殖鳥類リストの改訂によって、新たに山口県で繁殖が確認(繁殖ランクA)された種はカワウ、シロハラクイナ、セイタカシギ、ハチクマ、サンショウクイ(亜種リュウキュウサンショウクイ)、コリンウズラの6種、繁殖の可能性がある(繁殖ランクB)種はジュウイチ、ホトトギス、オオアカゲラ、ヤブサメ、クロツグミ、ジョウビタキの6種、小林・原田(3)による旧リストで繁殖ランクBであったが今回繁殖ランクAが確認された種はヨシゴイ、アカゲラの2種であった。この結果17目46科104種を記録した。あわせて従来山口県内での繁殖記録が少ない15種についての繁殖例を収録した。

## 5. 謝 辞

本報文をまとめるにあたって、山口県産繁殖鳥類の観察記録や写真をお送りいただいた村田稔恵、村田美津子、岩井清陸、山本尚佳、恩塚正則、山本健次郎、小川孝生、國廣文隆、國廣廣子、今井章彦、鹿間信弘、崖登司之、梶畑哲二、澤田千晶、山本 浩、浅田晴男、辻 正敏、三谷栄治、秋本裕寿、弘中 毅、深町 修、竹林賢二、嶋田淑子、鈴木啓紀、安井平造、安井成子、上田洋史、上田貴子、崎内民生、藤原正徳、林 眞寛、宮川輝男・石崎哲夫、杉野一雄、坪井美由紀の各氏に対しお礼申し上げます。

## 6. 引用文献

引用順に記載。文献の前の数字は、引用文献番号として本文に使用した

1. 山口県(2002)レッドデータブックやまぐち 山口県の絶滅の恐れのある野生生物 山口県環境生活部自然保護課
2. 小林繁樹(1999) 山口県産繁殖鳥類リスト1999 山口野鳥32, p26-49. 日本野鳥の会山口県支部
3. 小林繁樹・原田量介(2000) 山口県産繁殖鳥類リスト補遺2000. 山口野鳥33, p42-48
4. 日本鳥学会(2012) 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会
5. 村上興正・鷺谷いずみ(2002) 外来種ハンドブック. 日本生態学会
6. 川上和人・叶内拓哉(2012) 外来鳥ハンドブック. 文一総合出版
7. 日本野鳥の会山口県支部(1990) 山口県版鳥類繁殖地図調査報告書
8. 日本野鳥の会山口県支部(2008) 山口県版鳥類繁殖分布調査報告書2000
9. 小林繁樹・梶畑哲二(2006) カワウPhalacrocorax carboの山口県初繁殖記録. 山口県の自然66, p17-23. 山口県立山口博物館
10. 日本野鳥の会山口県支部(2005) カワウ食害等影響調査実績報告書 平成16年度
11. 小林繁樹(2004) カワウの営巣状況 山口野鳥37, 写真頁
12. 小林繁樹(2005a) 山口県内におけるカワウの生息状況に関するアンケート調査結果. 山口野鳥38, p13-29
13. 小林繁樹(2006) 山口県山口市大原湖におけるカワウの繁殖状況3年間の推移 山口野鳥39, p14-22
14. 日本野鳥の会山口県支部(2006) カワウ食害等影響調査実績報告書 平成17年度
15. 日本野鳥の会山口県支部(2007) カワウ食害等影響調査実績報告書 平成18年度
16. 小林繁樹(2005b) カワウ(繁殖)山口野鳥38, 写真頁
17. 小林繁樹(2013) 山口県内のカワウの生息状況に関するアンケート調査2013 山口野鳥45, p97-112
18. NPO法人野鳥やまぐち(2014) 山口県カワウ生息実態等調査報告書 平成25年度
19. 山本健次郎(2014) 野鳥観察カード情報 カワウ(繁殖) やまぐち野鳥だより233, p10-14
20. 原田量介(2014) 山口市秋穂二島雌島でカワウの繁殖確認 山口野鳥46, p80-81
21. NPO法人バードリサーチ(2015) 山口県カワウ生息実態等調査業務報告書 平成26年度
22. 山口県野生鳥獣調査団(2016) 山口県カワウ生息実態等調査業務報告書 平成27年度
23. 山口県立山口博物館(1989) 山口県の野鳥ガイド. 山口県立山口博物館
24. 辻 正敏(2002) 山口県におけるシロハラクイナの繁殖初記録 山口野鳥35, p9-12

25. 辻 正敏(2003a) シロハラクイナ(繁殖) 山口野鳥だより168, p16-18
26. 辻 正敏(2003b) 鳥信・短信 9月7日シロハラクイナの雛(5羽)を確認しました 山口野鳥だより169, p8
27. 辻 正敏(2004) 鳥信・短信 シロハラクイナの繁殖となわばり. やまぐち野鳥だより175, p11-13
28. 辻 正敏(2005) 鳥情報 繁殖情報 バン・シロハラクイナ やまぐち野鳥だより180, p6
29. 辻 正敏(2006) 鳥信・短信 春の鳥について やまぐち野鳥だより185, p6
30. 國廣文隆(2007) 野鳥観察カード情報 ジュウイチ(繁殖). やまぐち野鳥だより192, p17-19
31. 村田美津子(2003) 野鳥観察カード情報 ホトトギス(繁殖)山口野鳥だより168, p16-18
32. 浜田千代子(2012) <http://dekochoannoyume.blog.fc2.com/> ママチャリバーダー dekochanの蓮田だより
33. 梅森龍史・東常哲也(2007) 山口県萩市(旧旭村)におけるハチクマPernis apivurusの繁殖記録. 山口県の自然67, p19-22
34. 深町 修(2006) 鳥信・短信 オオアカゲラの営巣 やまぐち野鳥だより185, p9-10
35. 宮川輝男・石崎哲男(2016) 亜種リュウキュウサンショウクイPericrocotus divaricatus tegimaeの繁殖記録. やまぐち野鳥だより248, p12-13
36. 三上かつら・植田睦之(2011) 西日本におけるリュウキュウサンショウクイの分布拡大 Bird Research11, p33-44. 特定非営利活動法人バードリサーチ
37. 小林繁樹・原田量介・山根和親・開作秀敏・村本和之・立野昌宏・弘津聖也(準備中)山口県産鳥類目録(亜種)2017
38. 村田稔恵(2004a) 野鳥観察カード情報. ヤブサメ. やまぐち野鳥だより173, p24-27
39. 恩塚正則(2004a) 野鳥観察カード情報. ヤブサメ. やまぐち野鳥だより175, p16
40. 恩塚正則(2005a) 野鳥観察カード情報. ヤブサメ. やまぐち野鳥だより180, p16
41. 恩塚正則(2008a) 野鳥観察カード情報. ヤブサメ. やまぐち野鳥だより198, p17
42. 恩塚正則(2008b) 野鳥観察カード情報. ヤブサメ. やまぐち野鳥だより200, p14
43. 恩塚正則(2011a) 野鳥観察カード情報. ヤブサメ. やまぐち野鳥だより217, p17
44. 恩塚正則(2006a) 野鳥観察カード情報. クロツグミ. やまぐち野鳥だより186, p13
45. 恩塚正則(2009a) 野鳥観察カード情報. クロツグミ. やまぐち野鳥だより205, p16
46. 今井章彦(2012a) 野鳥観察カード情報. クロツグミ. やまぐち野鳥だより222, p14
47. 岩井清陸(2013) 野鳥観察カード情報. クロツグミ. やまぐち野鳥だより228, p12
48. 笹野聡美・山田 勝・江田伸司(2015) 岡山県におけるジョウビタキの繁殖. 日本鳥学会誌64(1), p91-94
49. 上田洋史(2014) ジョウビタキ繁殖行動の観察 やまぐち野鳥だより234, p5
50. 小林繁樹・原田量介・山根和親・開作秀敏・村本和之・立野昌宏・弘津聖也(準備中) 山口県で記録された外来種(外来鳥)リスト
51. 弘中 毅(2002) アカゲラの繁殖観察 山口野鳥35, p13-15
52. 小林繁樹・原田量介・加藤 昇(2001) 山口県萩市鯖島におけるオオミズナギドリの山口県初繁

- 殖記録. 山口県の自然61, p17-20. 山口県立山口博物館
53. 飯田知彦・山本貴仁(2012) 瀬戸内海におけるオオミズナギドリの繁殖の初確認と標識調査. ALULA44, p24-30
  54. 嶋田淑子(2014) 上関で出会った鳥たちのこと. 山口野鳥46, p82-86
  55. 渡辺伸一・上田健悟・飯田知彦(2016) 瀬戸内海で繁殖するオオミズナギドリ 山口県上関町宇和島. 月刊海洋48(9), p415-420
  56. レッドリスト上関編集委員会(2016) レッドリスト上関2016 山口県上関の希少野生動植物. 上関の自然を守る会
  57. 開作秀敏私信(2007) オオバンが長門市三隅でも繁殖. 山口県版鳥類繁殖分布調査2000, p120. 日本野鳥の会山口県支部
  58. 内山由子(1990) 山口県で初めて記録されたアマツバメの繁殖地. 山口県版鳥類繁殖地図調査報告書. p296. 日本野鳥の会山口県支部
  59. 山本健次郎(2000) 光市南部海域島嶼部海上調査実施報告. 山口野鳥33, p18-30
  60. 佐々木 紘・弘中 毅・澤田千晶(1990) ケリの繁殖を確認. 山口県版鳥類繁殖地図調査報告書. p306-307. 日本野鳥の会山口県支部.
  61. 澤田千晶私信(2007)ケリが岩国市尾津で1989年以來の繁殖. 山口県版鳥類繁殖分布調査2000, p130. 日本野鳥の会山口県支部
  62. 山本健次郎(2015a) 野鳥観察カード情報. ケリ(繁殖). やまぐち野鳥だより240, p16-18
  63. 山本健次郎(2015b) 野鳥観察カード情報. ケリ. やまぐち野鳥だより241, p17
  64. 小川孝生・三宅貞敏(1999) 野鳥観察カード情報 ウミネコ(繁殖). 山口野鳥だより145. p10, 12-13
  65. 原田量介(1999) ウミネコ(繁殖). 山口野鳥だより145. p10-13
  66. 三谷栄治(2015) 萩市で記録したウミネコの新繁殖地. 山口野鳥47, p61
  67. 鹿間信弘(2015a) 野鳥観察カード情報 ウミネコ(繁殖). 山口野鳥だより239, p17-19
  68. 鹿間信弘(2015b) 野鳥観察カード情報 ウミネコ(繁殖). 山口野鳥だより240, p15
  69. 鹿間信弘(2016) 野鳥観察カード情報 ウミネコ(繁殖). 山口野鳥だより245, p18.20-23
  70. 小林繁樹(2007) 野鳥観察カード情報 コアジサシ(繁殖)やまぐち野鳥だより193, p16-20
  71. 小林繁樹(2008) 山口県周南市で記録したコアジサシのコロニー. 山口野鳥41, p30-35
  72. 梶畑哲二(2013) コアジサシ(コロニー) 山口野鳥45, 写真頁p5
  73. 背戸宣博(1986) 山口県下におけるカンムリウミスズメの繁殖可能性について. 山口野鳥19, p25
  74. 西村利之(1997) 野鳥情報・観察記録1995.8-1996.7 日本野鳥の会野鳥記録検討会. Strix15, p149-160. 日本野鳥の会.
  75. 飯田知彦(2010) 瀬戸内海西部におけるカンムリウミスズメSynthliboramphus wumizusumeの複数家族群の初確認. 日本鳥学会誌59(1), p73-75
  76. 上関の自然を守る会(2016) 山口県上関海域(瀬戸内海西部)におけるカンムリウミスズメ家族群の確認と羽衣変化
  77. 原田量介・加藤 昇(1998) 絶滅危惧種のチュウヒ繁殖. 山口野鳥だより138, p20

78. 原田量介(1999) 野鳥観察カード情報. チュウヒ(繁殖). 山口野鳥だより144, p12-14
79. 川本美千夫(1990) ザ・川久保橋(この橋で繁殖した鳥). 山口野鳥23, p22-25
80. 川本美千夫・澤田千晶・角 永登(1993) オシドリによる橋脚の穴利用. Strix12, p231-233. 日本野鳥の会
81. 立野昌宏(2006) 山口県内におけるブッポウソウ保護活動の現状. 山口野鳥39, p7-9
82. 立野昌宏(2007) 鳥信・短信 ブッポウソウ巣箱で子育て. 山口野鳥だより192, p8
83. 小林繁樹・立野昌宏(2013a) ブッポウソウの巣箱内容物について その1. 山口野鳥45, p82-91
84. 小林繁樹・立野昌宏(2013b) ブッポウソウの巣箱内容物について その2. 山口野鳥45, p92-96
85. 保井 浩(1990) サンコウチョウ. 山口野鳥23, アート頁
86. 水口ミキ子(1990) サンコウチョウの繁殖. 山口野鳥23, p20-21
87. 崖登司之(2001) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). 山口野鳥だより156, p10
88. 崖登司之(2002) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). 山口野鳥だより162, p 9
89. 崖登司之(2007) 霜降山におけるサンコウチョウの繁殖記録 山口野鳥40, p6-9
90. 村田稔恵(2004b) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). やまぐち野鳥だより174, p17-20
91. 村田稔恵(2006) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). やまぐち野鳥だより186, p13
92. 村田美津子(2004a) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). やまぐち野鳥だより174, p18
93. 山本健次郎(2001) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). 山口野鳥だより156, p10-11
94. 山本尚佳(2004) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). やまぐち野鳥だより174, p18
95. 國廣文隆(2004) 野鳥観察カード情報 サンコウチョウ(繁殖). やまぐち野鳥だより174, p17-19
96. 恩塚政則(2003) 野鳥観察カード情報. コガラ. 山口野鳥だより168, p16
97. 恩塚政則(2004b) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより173, p24
98. 恩塚政則(2004c) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより174, p18
99. 恩塚政則(2008c) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより198, p17
100. 恩塚政則(2009b) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより204, p16
101. 恩塚政則(2009c) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより204, p16
102. 恩塚政則(2011b) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより204, p16
103. 恩塚政則(2014) 野鳥観察カード情報. コガラ. やまぐち野鳥だより235, p8
104. 岩井清陸(1999) 野鳥観察カード情報. ミソサザイ. 山口野鳥だより145, p10-12
105. 村田美津子(2004b) 野鳥観察カード情報. ミソサザイ. やまぐち野鳥だより173, p22
106. 恩塚正則(2006b) 野鳥観察カード情報. ミソサザイ. やまぐち野鳥だより186, p13
107. 山本健次郎(2006) 野鳥観察カード情報. ミソサザイ. やまぐち野鳥だより186, p14-16.
108. 岩井清陸(1998) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. 山口野鳥だより138, p13
109. 恩塚正則(2004d) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. やまぐち野鳥だより174, p18
110. 恩塚正則(2007) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. やまぐち野鳥だより193, p16
111. 恩塚正則(2008d) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. やまぐち野鳥だより198, p14
112. 恩塚正則(2009d) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. やまぐち野鳥だより204, p17

113. 恩塚正則(2009e) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. やまぐち野鳥だより204, p17
114. 今井章彦(2012b) 野鳥観察カード情報. トラツグミ(繁殖). やまぐち野鳥だより222, p13-16
115. 林 真寛(2016) 野鳥観察カード情報. トラツグミ. やまぐち野鳥だより247, p12-15
116. 日本野鳥の会山口県支部(1976) 山口県の野鳥
117. 宮川輝男・石崎哲夫(2016) コサメビタキ *Muscicapa dauurica* の繁殖記録. やまぐち野鳥だより248, p14-16
118. 恩塚政則(2005b) 野鳥観察カード情報. イカル. やまぐち野鳥だより180, p18
119. 恩塚政則(2006c) 野鳥観察カード情報. イカル. やまぐち野鳥だより186, p14
120. 恩塚政則(2008e) 野鳥観察カード情報. イカル. やまぐち野鳥だより198, p14
121. 鹿間信弘(2014) 野鳥観察カード情報. イカル. やまぐち野鳥だより234, p15

表 1.繁殖の可能性の区分及びその判定項目

繁殖ランク	現地調査、資料調査に関する基準
A	繁殖を確認した。又は繁殖確認に該当する記録がある。
B	繁殖の確認は出来なかったが繁殖の可能性が有る。繁殖ランクBの該当記録がある。
C	生息を確認したが、繁殖については何もいえない。

繁殖ランク		観 察 事 項	コードNo
A 繁殖を確認した	成鳥	成鳥が巣或いは巣のあるらしい所に繰り返し出入りしている。	10
		成鳥が抱卵又は抱雛している様だ。	11
		成鳥が巣のあるらしい所に飛び込むと同時に雛の乞給餌声有り。	12
		成鳥が雛の糞を運搬している。	13
		成鳥が明らかに同一サブメッシュ内にある巣の雛に餌を運搬している。 餌をくわえたまま警戒して移動しない場合を含む。	14
		擬傷を見た。	15
	巣	巣立ち後の巣がある。但し昨年以降に使用された巣である事。	20
	卵	卵のある巣を見た。	30
		成鳥が落ち着いて座っている巣の近くで、卵殻が見つかった。	31
	雛	雛のいる巣を見た。	40
		雛の声を聞いた。	41
	巣立雛	巣からほとんど移動していないと思われる巣立ち雛を見た。	50
B 繁殖の可能性が有る	成鳥	繁殖し得る環境で囀り(含むキツツキのドラミング)を聞いた。	60
		求愛行動を見た。冬鳥、旅鳥を除く。	61
		交尾行動を見た。冬鳥、旅鳥を除く。	62
		威嚇行動、警戒行動により付近に巣、雛の存在が考えられる。	63
		巣があると思われる所に成鳥が訪れた。時である場合を除く。	64
		造巣行動(巣穴掘りを含む)を見た。	65
		成鳥が巣材を運搬するも同一サブメッシュかどうか判らない。	66
	成鳥が雛に餌を運搬するも、巣が同一サブメッシュ内にあるか不明。	67	
	巣	巣を発見したが卵、雛とも無く、成鳥がそこに来るのを認めなかった。但し、2015年以後に作られた巣である事。	70
	巣立雛	かなり移動可能と思われる巣立ち雛を見た。	80
		家族群を見た。	81
C		その種が営巣し得る環境で、繁殖期にその種を確認したが、他には繁殖の徴候が認められない。	

表2. 山口県産繁殖鳥類リスト 2017

○◇：繁殖ランクA(繁殖確認)，●◆：繁殖ランクB(繁殖の可能性ある)。菱形は今回追加確認種

No	繁殖ランク	種名	No	繁殖ランク	種名
1	○	ヤマドリ	53	○	アオゲラ
2	○	キジ	54	○	ハヤブサ
3	○	オシドリ	55	◇	サンショウクイ
4	○	マガモ	56	○	サンコウチョウ
5	○	カルガモ	57	○	モズ
6	○	カイツブリ	58	○	アカモズ
7	○	カラスバト	59	○	カケス
8	○	キジバト	60	○	ハシボンガラス
9	○	オオミズナギドリ	61	○	ハシブトガラス
10	◇	カワウ	62	●	コガラ
11	◇	ヨシゴイ	63	○	ヤマガラ
12	○	ゴイサギ	64	○	ヒガラ
13	○	ササゴイ	65	○	シジュウカラ
14	○	アマサギ	66	○	ヒバリ
15	○	アオサギ	67	○	ツバメ
16	○	ダイサギ	68	○	コシアカツバメ
17	○	チュウサギ	69	○	イワツバメ
18	○	コサギ	70	○	ヒヨドリ
19	○	クロサギ	71	○	ウグイス
20	◇	シロハラクイナ	72	◆	ヤブサメ
21	○	ヒクイナ	73	○	エナガ
22	○	バン	74	○	センダイムシクイ
23	○	オオバン	75	○	メジロ
24	◆	ジュウイチ	76	○	オオヨシキリ
25	◆	ホトトギス	77	○	コヨシキリ
26	○	アマツバメ	78	○	セッカ
27	○	ケリ	79	●	ゴジュウカラ
28	○	イカルチドリ	80	●	ミソサザイ
29	○	コチドリ	81	○	ムクドリ
30	○	シロチドリ	82	○	コムクドリ
31	◇	セイタカシギ	83	○	カワガラス
32	○	タマシギ	84	●	トラツグミ
33	○	ウミネコ	85	◆	クロツグミ
34	○	コアジサシ	86	●	シロハラ
35	●	カンムリウミスズメ	87	◆	ジョウビタキ
36	○	ミサゴ	88	○	イソヒヨドリ
37	◇	ハチクマ	89	○	コサメビタキ
38	○	トビ	90	○	キビタキ
39	○	チュウヒ	91	○	オオルリ
40	○	オオタカ	92	○	スズメ
41	○	サシバ	93	○	キセキレイ
42	○	クマタカ	94	○	ハクセキレイ
43	○	オオコノハズク	95	○	セグロセキレイ
44	○	フクロウ	96	○	カワラヒワ
45	○	アオバズク	97	●	イカル
46	○	アカショウビン	98	○	ホオジロ
47	○	カワセミ	99	○	ホオアカ
48	○	ヤマセミ	100	○	コジュケイ
49	○	ブッポウソウ	101	○	コリンウズラ
50	○	コゲラ	102	○	カワラバト(ドバト)
51	◆	オオアカゲラ	103	○	ベニスズメ
52	◇	アカゲラ	104	○	キンバラ

図1 a. 新たに山口県内で繁殖が記録された種の写真



カワウ 2008.6.26  
山口市徳地大原湖中の島 杉野 一雄 撮影



カワウ 2013.6.28  
山口市徳地大原湖中の島 小林 繁樹 撮影



カワウ 2015.5.28  
山口市秋穂二島雌島 原田 量介 撮影



カワウ 2016.5.12  
萩市平安古町 三谷 栄治 撮影



シロハラクイナ(雛) 2003.9.7  
長門市西深川 辻 正敏 撮影



シロハラクイナ(雛) 2005.7.24  
長門市西深川 秋本 裕寿 撮影



ジュウイチ(幼鳥) 2007.6.12  
下関市深坂公園 國廣 文隆 撮影



ホトトギス(巢立ち雛) 2003.7.2  
宇部市霜降山 村田 美津子 撮影



オオアカゲラ 2006.4.30  
周南市鹿野仁保谷 秋本 裕寿 撮影



オオアカゲラ 2006.4.30  
周南市鹿野仁保谷 秋本 裕寿 撮影



亜種リュウキュウサンショウクイ(抱卵) 2016.6.18  
山口市香山公園 宮川 輝男 撮影



亜種リュウキュウサンショウクイ(給餌) 2016.7.10  
山口市香山公園 宮川 輝夫 撮影



参考記録 ヤブサメ(抱卵) 2004.5.30  
島根県津和野町地倉沼 村田 稔恵 撮影



ジョウビタキ(造巢) 2014.7.3  
山口市中尾 上田 洋史 撮影



ジョウビタキ(抱卵) 2014.7.4  
山口市中尾 上田 洋史 撮影



ジョウビタキ(巢内の卵) 2014.7.21  
山口市中尾 上田 洋史 撮影

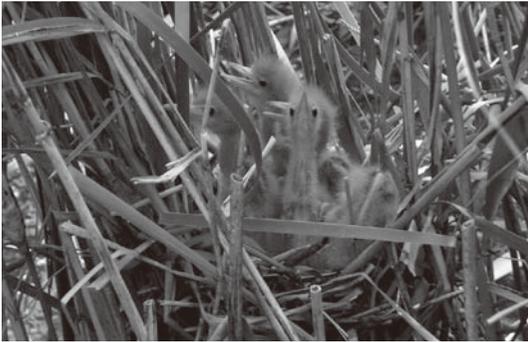


コリンウズラ 2008.7.26  
山口市阿知須きらら浜自然観察公園 原田 量介 撮影



コリンウズラ(雛) 2009.10.7  
山口市阿知須きらら浜自然観察公園付近 原田 量介 撮影

図 1 b. 新たに山口県内で繁殖ランクA (繁殖確認) が記録された種の写真



ヨシゴイ(雛) 2009.7.14  
山口市阿知須きらら浜自然観察公園 原田 量介 撮影



ヨシゴイ(雛) 2009.7.14  
山口市阿知須きらら浜自然観察公園 原田 量介 撮影



アカゲラ 2002.6.21  
岩国市錦町 弘中 毅 撮影



アカゲラ(餌運び) 2002.6.21  
岩国市錦町 弘中 毅 撮影

図1c. 山口県内で繁殖記録が少ない種の写真



オオバン(雛) 2009.6.24  
下関市工領干拓地 國廣 廣子 撮影



アマツバメ(卵) 2014.5.17  
柳井市ハンドウ島 鈴木 啓紀 撮影



アマツバメ(雛) 2014.6.28  
柳井市ハンドウ島 鈴木 啓紀 撮影



ケリ(幼鳥) 2015.7.25  
岩国市尾津3丁目 山本 健次郎 撮影



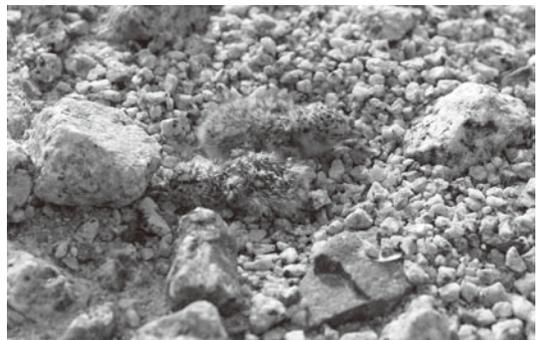
ウミネコ(雛) 2013.5.25  
萩市玉江浦漁港 三谷 栄治 撮影



ウミネコ(雛) 2015.6.6  
萩市玉江浦漁港 鹿間 信弘 撮影



コアシサシ(給餌) 2007.8.16  
周南市晴海町晴海埠頭 小林 繁樹 撮影



コアシサシ(雛) 2008.7.25  
周南市晴海町晴海埠頭 小林 繁樹 撮影



チュウヒ(巣材運び) 2007.5.7  
山口市阿知須きらら浜自然観察公園 原田 量介 撮影



チュウヒ(巣) 2007.6.1  
山口市阿知須きらら浜自然観察公園 原田 量介 撮影



ブッポウソウ 2015.5.17  
周南市 竹林 賢二 撮影



サンコウチョウ(給餌) 2001.7.7  
光市峨嵋山 山本 健次郎 撮影



サンコウチョウ(抱卵) 2007.6.23  
下関市華山 安井 平造 撮影



サンコウチョウ(♂の給餌) 2007.7.8  
下関市華山 安井 平造 撮影



サンコウチョウ 2014.6.7  
下関市華山 國廣 文隆 撮影



コガラ(幼鳥) 2014.6.7  
山口市徳地日暮ヶ岳 山根 和親 撮影



トラツグミ(餌運び) 2012.6.15  
山口市中尾地藏峠 今井 章彦 撮影



トラツグミ(餌運び) 2016.8.16  
山口市徳佐十種ヶ峰 林 真寛 撮影



コサメビタキ(雛) 2016.6.1  
山口市香山公園 宮川 輝男 撮影



コサメビタキ(雛への給餌) 2016.6.8  
山口市香山公園 宮川 輝男 撮影